

## 2-2 現況の分析・評価と課題の整理

みどりにかかわる現況をふまえて、いわき市のみどりの特性に関して、分析・評価を行い、課題を整理します。

### (1) みどりの機能別の分析・評価

みどりが都市に果たす主要な機能である「環境保全」、「レクリエーション」、「防災」、「景観形成」の4つに、「産業」を加えた5つの機能ごとに設定した視点で行います。

#### 1) 環境保全機能

都市環境を保全していくために必要なみどりの資源について分析・評価を行います。

##### 《環境保全機能の役割》

地球環境問題への関心が高まるなか、快適でうるおいのある都市環境の創造、貴重な動植物の生息生育空間の保全、都市気候の緩和など、自然との共生や環境への負荷を低減する役割を果たします。

#### <都市の骨格となるみどり>

- 平、小名浜、内郷、いわきニュータウン等の環状に連続した市街地（以下環状市街地と記す）の中心に「丘陵地」が存在しており、都市の中央部に広大なみどりを持つ個性的な構造を持つ都市を形成しています。
- 市街地に島状・楔状に入り込み、また市街地の背後を取り囲む「丘陵樹林地」は、市街地の無秩序な拡大を防止しており、市街地の境界が明解な本市らしい都市構造を生み出しています。
- 本市の東側にある全長約 60km に及ぶ「海岸線」は特徴的な地形となっており、波立、新舞子浜、塩屋崎、三崎公園、照島等のみどりは、都市の骨格を形成するみどりと捉えることができます。
- 都市計画区域を横断する仁井田川、夏井川、藤原川、鮫川等の主要「河川」は、帯状に連続するみどりとして都市の骨格を形成しています。

#### <優れた歴史的風土のあるみどり>

- 「保存樹木や保存樹林」に位置づけられている巨木・古木は、美観に優れており、歴史的風土のある貴重なみどりとして捉えることができます。
- 市内には、自然を特徴づける「樹林地」や岩間町のスダジイ林等の「自然植生」、学術的価値の高い賢沼等の「天然記念物」のみどり、白水阿弥陀堂や甲塚古墳等の「文化財」や「寺社」と一体となった自然地が多数分布しています。これらは、子孫に伝える貴重な遺産として、また、学術研究上の対象として重要なみどりです。

＜快適な生活環境を形成するみどり＞

- 市街地に入り込む「丘陵樹林地」は、限られた市街地のなかに存在する貴重なみどりと言えます。
- 市街地にある「商業地」のみどり（例：フラワーポット）や「住宅地」のみどり（例：緑地協定によるみどり）、「公共施設緑地」、「農地」は、市街地のみどりが不足する中、快適でうるおいのある都市環境をつくるために、重要なみどりと言えます。
- すべての「公園緑地」や「公共施設緑地」は、地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性を保全するための良好な都市環境の提供等に寄与する重要なみどりの拠点です。

表 2-2-1 環境保全機能の視点

視点	対象となる主なみどり
都市の骨格 となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環状市街地に囲まれた丘陵地</li> <li>○市街化区域に入り込む丘陵樹林地</li> <li>○市街地の背後を取り囲む都市計画区域内の丘陵樹林地</li> <li>○特徴的な地形の海岸緑地、その他の自然海岸</li> <li>○河川(4大河川)沿いのみどり</li> </ul>
優れた歴史的風土 のあるみどり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存樹木、保存樹林</li> <li>○天然記念物や文化財・寺社と一体となったみどり</li> </ul>
快適な生活環境を 形成するみどり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街化区域に入り込む丘陵樹林地</li> <li>○商業地や住宅地にあるみどり ○農地</li> <li>○すべての公園緑地、公共施設緑地</li> </ul>

## 2) レクリエーション機能

市民をはじめとする人々のレクリエーションの場としてのみどりについて分析・評価を行います。

### 《レクリエーション機能の役割》

少子高齢化に伴う人口減少、インターネットや携帯電話などの情報通信技術の進歩、生活スタイルや価値観の多様化などに伴い、レクリエーション需要が多様化・高度化・広域化するなかで、日常的、広域的なレクリエーション活動に対応した、自然とふれあうことのできる余暇空間を提供する役割を果たします。

#### <身近なレクリエーションの場となるみどり>

- ・「身近な公園緑地」は、市民が気軽に訪れ、日常的に利用できるレクリエーションの場として生活環境のなかに溶け込み、楽しさややすらぎをもたらしています。

#### <広域レクリエーションの場となるみどり>

- ・市街地の背景となる「山林」や「丘陵樹林地」、「県立自然公園」、「自然環境保全地域」は、自然探訪、散策、ピクニック等のフィールドレクリエーションの場となっており、特に環状市街地に囲まれた「丘陵樹林地」は、市街地に近い樹林地であり、身近なレクリエーション空間の場として重要です。
- ・「大規模な公園緑地」、「風致公園」、「公共施設緑地」等のレクリエーション需要に corres ponding している施設は、休日等に家族や仲間と楽しく過ごすことができるような広域的な利用が可能であり、多様なレクリエーション・アクティビティ需要に応える重要な施設です。

#### <ネットワーク・回遊性を形成するみどり>

- ・都市の広がりを形成するみどりとして、「河川」、「海岸線」のみどりや「防災緑地」、緑化された「幹線道路」が大きな役割を果たしています。

表 2-2-2 レクリエーション機能の視点

視点	対象となる主なみどり
身近なレクリエーションの場となるみどり	○身近な公園緑地
広域レクリエーションの場となるみどり	○環状市街地に囲まれた丘陵地 ○市街地の背後を取り囲む都市計画区域内の丘陵樹林地 ○山林・丘陵樹林地にあるハイキングコース等の施設 ○大規模な公園緑地、風致公園、公共施設緑地、自然公園、自然環境保全地域 ○上記以外でレクリエーション需要に corresponding している施設
ネットワーク・回遊性を形成するみどり	○河川(4大河川、代表的な中小河川)沿いのみどり ○海岸線のみどり ○防災緑地 ○街路樹のある幹線道路(幅員 16m以上の都市計画道路)

### 3) 防災機能

安全・安心な都市環境づくりに不可欠なみどりについて分析・評価を行います。

#### 《防災機能の役割》

地震や豪雨などの災害に強いまちづくりが求められるなか、災害の防止あるいは災害時における避難路、避難場所の形成、災害に強い都市構造の形成や多様な防災活動拠点の確保等の役割を果たします。

#### <避難地となるみどり>

- いわき市地域防災計画では、「公園緑地」や「公共公益施設」のグラウンド等が避難場所として位置づけられています。

#### <災害に強い都市を形成するみどり>

- 「幹線道路の街路樹」は、地震災害における火災時の延焼防止による避難路の確保等、二次災害を抑制する効果があります。
- 「防災緑地」、「防潮林・防風林・防砂林の機能を持つ松林」は、海からの潮、砂、風等から市街地や田畑を守る機能を有しています。特に、津波被害の顕著な地区においては、津波の減衰と浸水被害範囲の軽減、避難時間の確保、漂流物の捕捉による衝突の被害軽減に効果があります。
- 「森林」は市内の約 7 割を占めており、市の防災・減災にとって重要なみどりです。
- 「農地」は保水力が大きいですが、遊休農地等により機能が損なわれつつあります。
- 「水源涵養林」や「浸水区域、がけ崩れの危険性の高い区域」のみどりは、台風や集中豪雨による土砂崩れ、洪水等の発生を抑制する重要なみどりです。

#### <多様な防災活動拠点となるみどり>

- 福島県地域防災計画で位置づけられている「ヘリコプター臨時離発着場」は、ヘリコプターが離発着できる平地が確保されており、災害時の防災活動拠点となります。
- 「21 世紀の森公園」は、いわき市地域防災計画で物資集配拠点施設に位置づけられており、災害時には、救援物資の集積・分配機能を担う屋内多目的広場が整備されています。

表 2-2-3 防災機能の視点

視点	対象となる主なみどり
避難地となるみどり	○市の地域防災計画で位置づけられている避難場所
災害に強い都市を形成するみどり	○街路樹のある幹線道路(幅員 16m以上の都市計画道路) ○防災緑地、防潮林・防風林・防砂林の機能を持つ松林 ○水源涵養保安林等の水源涵養機能を有する樹林地及びダム ○浸水が予想される地区のみどり ○急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、市街地に隣接した丘陵地のうち急傾斜の地区のみどり ○山林・丘陵樹林地 ○農地
多様な防災活動拠点となるみどり	○県の地域防災計画で位置づけのあるヘリコプター臨時離発着場 ○市の地域防災計画で物資集配拠点施設と位置づけられている公園

#### 4) 景観形成機能

都市のイメージ形成にかかわる景観的な要素について分析・評価を行います。

##### 《景観形成機能の役割》

市街地を取り囲み、その背景となるみどり、市街地内の社寺林などの郷土景観を形づくるみどり、市街地内のシンボルやランドマークとなるみどりなど、特色あるまちづくりに役立つ都市景観上の役割を果たします。

##### <市街地の背景となるみどり>

- ・市街化区域に入り込む「丘陵樹林地」は、市街地において、身近にあるみどりの景観となっています。
- ・市街地の背後を取り囲む都市計画区域内の「丘陵樹林地」は、その地形により市街地の縁辺が把握しやすく、明瞭な景観を形成しています。
- ・「山地の表情豊かな森林」や、田園風景を創出する「農地」のみどりは、奥行きのある豊かな景観を形成しています。

##### <いわきらしさ・シンボルとなるみどり>

- ・「風致公園」をはじめ、水石山、新舞子浜、塩屋崎等の「景勝地」は、樹林地、湖沼海浜等の良好な自然的環境を形成しており、いわきらしい自然風景等の趣、味わいを楽しめるみどりとなっています。
- ・自然性が高く、樹容の優れる「保存樹木・保存樹林」は、環境の美観や風致の維持等に寄与しており、まちのシンボルとして次世代へと継承していくべきみどりです。

##### <ランドマーク・優れた眺望となるみどり>

- ・環状市街地に囲まれた「丘陵樹林地」は、市街地に隣接するまとまったみどりとしてランドマークとなっています。
- ・水石山等の「山地景観」、夏井川溪谷等の「河川景観」、波立海岸弁天岩の「海岸景観」を形成するいわき市の「自然景観資源」は、豊かな自然により多彩な眺望を生み出しています。

表 2-2-4 景観形成機能の視点

視点	対象となる主なみどり
市街地の背景となるみどり	○市街化区域に入り込む丘陵樹林地 ○市街地の背後を取り囲む都市計画区域内の丘陵樹林地 ○山林 ○農地
いわきらしさ・シンボルとなるみどり	○風致公園 ○景勝地 ○保存樹木、保存樹林
ランドマーク・優れた眺望となるみどり	○環状市街地に囲まれた丘陵地 ○自然景観資源

## 5) 産業機能

いわき市の産業を支えるために必要なみどりの資源について分析・評価を行います。

### 《産業機能の役割》

水源涵養機能による豊かな土壌の形成、特徴的な景観を生み出すことで観光資源となるみどり、産業公害を防止するみどりなど、いわき市の多様な産業活動を支える役割を果たします。

#### <地域の産業を支える重要なみどり>

- 「山林」や「丘陵樹林地」は、林業の場であり、また雨水を土壌中に貯えてゆっくりと河川に流すことで洪水や濁水を緩和するほか、水質を浄化する効果があります。
- 「農地」は、水源涵養機能に加え、食料やその他の農産物を生産する重要なみどりで
- す。
- 「漁港」及び「海岸線」のみどりは、漁業の環境に重要である他、その特徴的な景観が観光資源となります。

#### <工場災害の防止に必要なみどり>

- 「工業団地」や「工業地」内の緩衝緑地は、住宅・商業地域での大気汚染・騒音・悪臭等の公害の防止・緩和や、工業地帯の災害防止に必要なみどりです。

表 2-2-5 産業機能の視点

視点	対象となる主なみどり
地域の産業を支える重要なみどり	○山林 ○丘陵樹林地 ○農地 ○漁港及び海岸線のみどり
工場災害の防止に必要なみどり	○工業団地や工業地内の緩衝緑地

## 6) みどり別の主要な機能

各みどりにおいて重視する機能を整理すると、次の通りとなります。

表 2-2-6 みどり別の主要な機能

	環境保全 機能	レクリエーション 機能	防災 機能	景観形成 機能	産業 機能
山林		○	○	○	○
農地	○		○	○	○
県立自然公園 自然環境保全地域		○			
河川	○	○			
丘陵樹林地	○	○	○	○	○
街路樹 幹線道路		○	○		
景勝地 天然記念物	○			○	
大規模な公園緑地	○	○	○		
風致公園	○	○	○	○	
身近な公園緑地	○	○	○		
公共施設緑地	○	○	○		
住宅地のみどり	○				
商業地のみどり	○				
工業団地・工業地 のみどり					○
海岸線 漁港	○	○			○
防災緑地		○	○		
文化財 寺社	○				
保存樹林 保存樹木	○			○	

## (2) 現行計画の評価

### 1) 定量的な評価

現行計画において、設定された目標値と実績値を比較すると、すべての項目で目標値を下回っているものの、各項目の達成率は、8,9割程度であることから、概ね目標は達成されていると言えます。

表 2-2-7 現行計画の目標と現況の比較（都市公園）

	令和2年度 整備目標水準		実績値		過不足		達成率	
	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積	箇所
都市公園面積	739.62	276	528.24	275	▲ 211.38	▲ 1	71%	99%
	令和2年度 整備目標水準		実績値		過不足		達成率	
1人当たり都市公園面積	21.75	m2/人	16.69	m2/人	▲ 5.06	m2/人	77%	

注：1人あたり都市公園面積 = 都市公園面積/都市計画区域人口  
(令和2年4月時点：316,504人)

表 2-2-8 現行計画の目標と現況の比較（そののみどり）

	令和2年度 整備目標水準		実績値		過不足		達成率	
	面積 (ha)		面積 (ha)		面積 (ha)		面積	
法による緑地	20,042.31	ha	19,996.50	ha	▲ 45.81	ha	99%	
	令和2年度 整備目標水準		実績値		過不足		達成率	
緑地協定	239.76	ha	197.28	ha	▲ 42.48	ha	82%	
	令和2年度 整備目標水準		実績値		過不足		達成率	
保存樹林	6.00	ha	5.81	ha	▲ 0.19	ha	97%	

注：実績値における法によるみどりの抽出項目は次の通りです。

- ・県立自然公園地域：いわき市統計書（令和元年版）
- ・農用地区域：いわき農業振興地域整備計画（令和元年度）
- ・保安林区域：令和元年福島県森林・林業統計書（平成30年度）
- ・鳥獣保護区：令和元年度版福島県環境白書 統計資料編（平成31年3月31日現在）



## 2) 市民意向調査等からの評価

現行計画で掲げている4つの基本方針である市内のみどりを「守る」「創る」「結ぶ」「育てる」に沿って、施策の進捗状況や市民意向調査から評価を行いました。

### ①いわきのみどりを守る

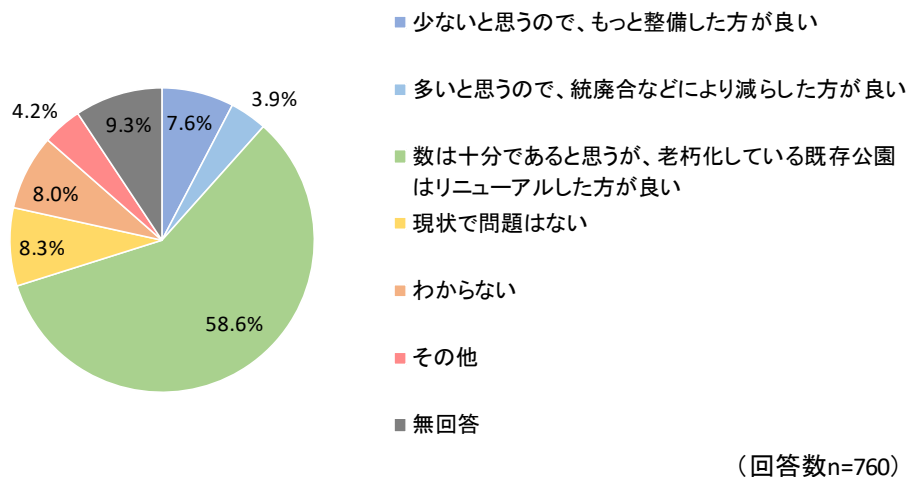
保存樹木・保存樹林の指定等は進んでいるものの、市民意向調査からみると、公園・緑地の管理状況についての市民満足度は低くなっています。

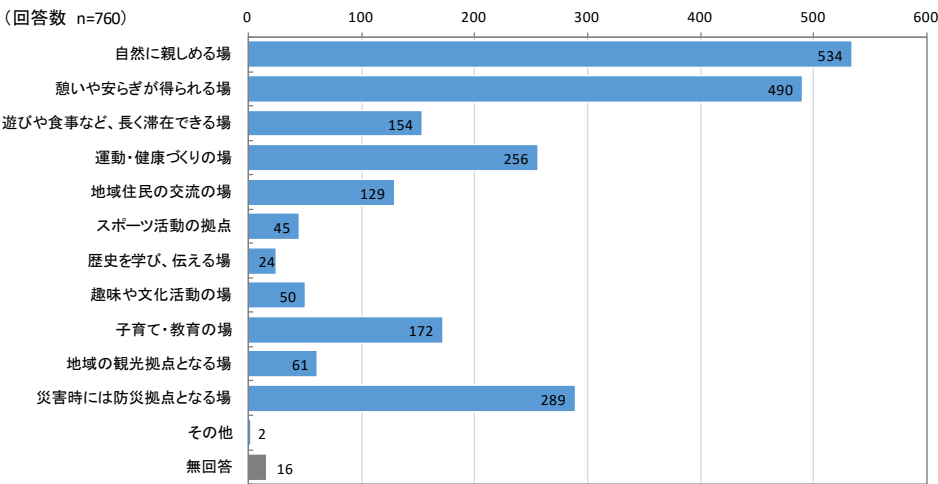
<b>主な 施策</b>	保存樹木・保存樹林の指定 (保存樹林 H10年末：18件→H19年：24件)																																																																									
<b>評価</b>	市の公園・緑地の管理状況について、すべての地区で満足度が「高い・やや高い」より「低い・やや低い」の割合が多くなっています。																																																																									
<b>評価 資料</b>	<p><b>【資料：市民意向調査】</b></p> <p>問 「公園・緑地」の「管理状況」について、現状の満足度を教えてください。</p> <table border="1"> <caption>市民意向調査結果：公園・緑地の管理状況に対する満足度</caption> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>回答数</th> <th>(高い)</th> <th>(やや高い)</th> <th>(普通)</th> <th>(やや低い)</th> <th>(低い)</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>760</td> <td>2.1%</td> <td>10.1%</td> <td>41.1%</td> <td>21.8%</td> <td>12.8%</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>平・いわきニュータウン・小川・川前</td> <td>241</td> <td>3.7%</td> <td>7.9%</td> <td>37.3%</td> <td>22.0%</td> <td>17.8%</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>小名浜・泉・江名</td> <td>191</td> <td>1.6%</td> <td>11.5%</td> <td>37.2%</td> <td>26.2%</td> <td>9.9%</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>勿来・田人</td> <td>114</td> <td>0.0%</td> <td>10.5%</td> <td>54.4%</td> <td>21.1%</td> <td>7.9%</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>常盤・遠野</td> <td>77</td> <td>0.0%</td> <td>11.7%</td> <td>35.1%</td> <td>18.2%</td> <td>14.3%</td> <td>18.2%</td> </tr> <tr> <td>内郷・好間・三和</td> <td>95</td> <td>2.6%</td> <td>12.6%</td> <td>42.1%</td> <td>20.0%</td> <td>10.5%</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>四倉・久之浜・大久</td> <td>35</td> <td>1.1%</td> <td>2.9%</td> <td>8.6%</td> <td>54.3%</td> <td>17.1%</td> <td>5.7%</td> <td>11.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>42.9%</td> <td></td> <td>42.9%</td> <td>14.3%</td> </tr> </tbody> </table>	地区	回答数	(高い)	(やや高い)	(普通)	(やや低い)	(低い)	無回答	全体	760	2.1%	10.1%	41.1%	21.8%	12.8%	12.1%	平・いわきニュータウン・小川・川前	241	3.7%	7.9%	37.3%	22.0%	17.8%	11.2%	小名浜・泉・江名	191	1.6%	11.5%	37.2%	26.2%	9.9%	13.6%	勿来・田人	114	0.0%	10.5%	54.4%	21.1%	7.9%	6.1%	常盤・遠野	77	0.0%	11.7%	35.1%	18.2%	14.3%	18.2%	内郷・好間・三和	95	2.6%	12.6%	42.1%	20.0%	10.5%	13.7%	四倉・久之浜・大久	35	1.1%	2.9%	8.6%	54.3%	17.1%	5.7%	11.4%	無回答	7			42.9%		42.9%	14.3%
地区	回答数	(高い)	(やや高い)	(普通)	(やや低い)	(低い)	無回答																																																																			
全体	760	2.1%	10.1%	41.1%	21.8%	12.8%	12.1%																																																																			
平・いわきニュータウン・小川・川前	241	3.7%	7.9%	37.3%	22.0%	17.8%	11.2%																																																																			
小名浜・泉・江名	191	1.6%	11.5%	37.2%	26.2%	9.9%	13.6%																																																																			
勿来・田人	114	0.0%	10.5%	54.4%	21.1%	7.9%	6.1%																																																																			
常盤・遠野	77	0.0%	11.7%	35.1%	18.2%	14.3%	18.2%																																																																			
内郷・好間・三和	95	2.6%	12.6%	42.1%	20.0%	10.5%	13.7%																																																																			
四倉・久之浜・大久	35	1.1%	2.9%	8.6%	54.3%	17.1%	5.7%	11.4%																																																																		
無回答	7			42.9%		42.9%	14.3%																																																																			

## ②いわきのみどりを創る

公園の量は十分であるとの意見が多いものの、「自然に親しめる場」「憩いや安らぎが得られる場」「災害時には防災拠点となる場」「運動・健康づくりの場」といったニーズに対応した公園が不足しています。

<b>主な 施策</b>	身近な公園の整備 （都市公園数 H11年：217箇所→H31年：275箇所）
<b>評価</b>	<b>【評価の視点1：公園・緑地の量と質について】</b> 都市公園の量と質について、「数は十分であると思うが、老朽化している既存公園はリニューアルした方が良い」という意見が半数以上を占めており、新たなみどりの整備より、既存の公園の利活用が望まれていると考えられます。
<b>評価 資料</b>	<b>【資料：市民意向調査】</b> 問 市内には、三崎公園などの大規模な公園から身近にある小さな公園まで、大小合わせると556箇所の「公園・緑地」を市などが管理していますが、あなたは「公園・緑地」を今後どのようにしていけば良いと思いますか。



<p>評価</p>	<p><b>【評価の視点2：公園・緑地へのニーズ】</b>          市民意向調査による、公園・緑地で求められている機能は、「自然に親しめる場」が最も多く、次いで「憩いや安らぎが得られる場」「災害時には防災拠点となる場」「運動・健康づくりの場」が多くなっています。</p>																												
<p>評価資料</p>	<p><b>【資料：市民意向調査】</b>          問 「公園・緑地」はどのような場所であれば良いと思いますか。</p> <p>(回答数 n=760)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然に親しめる場</td> <td>534</td> </tr> <tr> <td>憩いや安らぎが得られる場</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>遊びや食事など、長く滞在できる場</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>運動・健康づくりの場</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>地域住民の交流の場</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>スポーツ活動の拠点</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>歴史を学び、伝える場</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>趣味や文化活動の場</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>子育て・教育の場</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>地域の観光拠点となる場</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>災害時には防災拠点となる場</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	機能	回答数	自然に親しめる場	534	憩いや安らぎが得られる場	490	遊びや食事など、長く滞在できる場	154	運動・健康づくりの場	256	地域住民の交流の場	129	スポーツ活動の拠点	45	歴史を学び、伝える場	24	趣味や文化活動の場	50	子育て・教育の場	172	地域の観光拠点となる場	61	災害時には防災拠点となる場	289	その他	2	無回答	16
機能	回答数																												
自然に親しめる場	534																												
憩いや安らぎが得られる場	490																												
遊びや食事など、長く滞在できる場	154																												
運動・健康づくりの場	256																												
地域住民の交流の場	129																												
スポーツ活動の拠点	45																												
歴史を学び、伝える場	24																												
趣味や文化活動の場	50																												
子育て・教育の場	172																												
地域の観光拠点となる場	61																												
災害時には防災拠点となる場	289																												
その他	2																												
無回答	16																												

### ③いわきのみどりを結ぶ

現行計画では、フラワーポット等による緑化等の施策が挙げられています。

市民意向調査では、商店街や都市部でみどりが少ない、また、みどりの配置について役割分担（例：山間部から中心部に近づくにつれ、みどりを多くする）が必要であるとの意見がみられ、地域によるみどりの量のばらつきがあると推測されます。

主な 施策	・フラワーポット等による緑化 等
評価	「結ぶ」の分野のうち、「まちの中」をみると、商店街や都市部で、みどりが少ないという意見がみられます。 みどりの配置について役割分担（例：山間部から中心部に近づくにつれ、みどりを多くする）が必要であるとの意見がみられます。
評価 資料	<b>【資料：市民意向調査（自由記述抜粋）】</b> ・現在は商店街に活気がなく、花なども少なく街を歩いても少々淋しく感じられます。 ・都市部のアパート居住者で家庭菜園をやりたいと思っている人は多いと多います。公園の一区画を貸し出す代わりに公園の清掃等の活動をお願いする等はどうでしょうか。 ・いわきは山間部も多く、街中においても様々な場所で緑を見かけることができます。緑の多い場所に緑を設置しても意味がありません。

#### ④いわきのみどりを育てる

現行計画において、緑地協定の締結、公園愛護会の育成・充実等の施策が進められています。

市民意向調査によると、住民主体のみどりの管理活動は、「機会」「場所」「時間」を主な理由に、促進されていません。また、高齢化により継続が難しくなっています。

一方、公園・緑地の管理については、住民や民間企業が主体となることに対して、市民から十分に理解が得られていない状況もあります。

<b>主な 施策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地の緑化の推進（緑地協定数 H13年：18件→H30年：26件）</li> <li>・公園愛護会の育成・充実 等</li> </ul>																										
<b>評価</b>	<p><b>【評価の視点1：住民によるみどりに関わる活動への参加状況】</b></p> <p>公園・緑地の維持管理活動の参加について、「時々、参加している」「ほとんど参加していない」が大半を占めています。維持管理活動に参加できない主な理由は、「機会」「場所」「時間」です。</p>																										
<b>評価 資料</b>	<p><b>【資料：市民意向調査】</b></p> <p>問 「公園・緑地」との関わりを教えてください。 「関わり」とは、清掃、除草活動や樹木、花の管理などへの参加を指します。</p> <div data-bbox="427 1093 997 1406"> <table border="1"> <caption>参加状況の割合</caption> <thead> <tr> <th>参加状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極的に参加している</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>時々、参加している</td> <td>24.1%</td> </tr> <tr> <td>ほとんど参加していない</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(回答数 n=760)</p> </div> <p>問 今後、どのようにすれば「公園・緑地」と関わっていけるとお思いますか。（前問で『時々、参加している』『ほとんど参加していない』に回答された方）</p> <div data-bbox="434 1624 1093 1944"> <table border="1"> <caption>関わりを促す理由の割合</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機会や場所があれば関わっていけると思う</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>時間があれば関わっていけると思う</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>報酬が得られれば関わっていけると思う</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>興味がない</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>公園・緑地の管理者がやるべきであると思う</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(回答数 n=639)</p> </div>	参加状況	割合	積極的に参加している	13.6%	時々、参加している	24.1%	ほとんど参加していない	60.0%	無回答	2.4%	理由	割合	機会や場所があれば関わっていけると思う	28.0%	時間があれば関わっていけると思う	31.8%	報酬が得られれば関わっていけると思う	5.3%	興味がない	9.1%	公園・緑地の管理者がやるべきであると思う	15.5%	その他	4.5%	無回答	5.8%
参加状況	割合																										
積極的に参加している	13.6%																										
時々、参加している	24.1%																										
ほとんど参加していない	60.0%																										
無回答	2.4%																										
理由	割合																										
機会や場所があれば関わっていけると思う	28.0%																										
時間があれば関わっていけると思う	31.8%																										
報酬が得られれば関わっていけると思う	5.3%																										
興味がない	9.1%																										
公園・緑地の管理者がやるべきであると思う	15.5%																										
その他	4.5%																										
無回答	5.8%																										

評価	<p><b>【評価の視点2：既存の維持管理活動の問題点について】</b></p> <p>住民によるみどりの管理活動について、高齢化により継続が難しくなっているという意見がみられます。</p>
評価資料	<p><b>【資料：市民意向調査（自由記述抜粋）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、高齢化により、地域住民による管理活動の継続は難しくなると思う。その結果、公園ごとに管理状況に格差が生じることになる。</li> <li>・高齢化等で将来的には、民間企業への委託も必要である。</li> </ul>

評価	<p><b>【評価の視点3：管理主体について】</b></p> <p>大規模な公園・緑地の管理については、約80%（=32.1%+23.0%+24.5%）が市による管理を求めています。</p> <p>小規模な公園・緑地の管理について、「地域住民が実施する（32.1%）」が最も多く、次いで「市が実施する（24.5%）」「民間企業等を含む様々な団体が実施する（23.0%）」となっており、意見が分かれています。</p> <p>上記の結果から、住民や民間企業によるみどりの維持管理について、市民から十分に理解が得られているとは言えません。</p>
----	---

評価資料	<p><b>【資料：市民意向調査】</b></p> <p>問 「公園・緑地」の清掃や除草などは今後どのようにしていけば良いと思いますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管理主体</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>これまで通り、大規模な公園は市、小規模な公園は地域住民が実施する</td> <td>32.1%</td> </tr> <tr> <td>大規模な公園は市、小規模な公園は民間企業等を含む様々な団体が実施する</td> <td>23.0%</td> </tr> <tr> <td>大規模な公園は民間企業等を含む様々な団体、小規模な公園は地域住民が実施する</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>規模に関わらず、市が実施する</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(回答数 n=760)</p>	管理主体	割合	これまで通り、大規模な公園は市、小規模な公園は地域住民が実施する	32.1%	大規模な公園は市、小規模な公園は民間企業等を含む様々な団体が実施する	23.0%	大規模な公園は民間企業等を含む様々な団体、小規模な公園は地域住民が実施する	7.9%	規模に関わらず、市が実施する	24.5%	わからない	5.8%	その他	4.7%	無回答	2.0%
管理主体	割合																
これまで通り、大規模な公園は市、小規模な公園は地域住民が実施する	32.1%																
大規模な公園は市、小規模な公園は民間企業等を含む様々な団体が実施する	23.0%																
大規模な公園は民間企業等を含む様々な団体、小規模な公園は地域住民が実施する	7.9%																
規模に関わらず、市が実施する	24.5%																
わからない	5.8%																
その他	4.7%																
無回答	2.0%																

### (3) 課題の整理

前項までに示した内容を踏まえ、計画策定に向けた課題について以下に整理します。

#### 1) みどりの「量」的課題

##### ①みどりの保全と適切な維持管理

現行計画による目標と実績値を比較すると、都市公園や法による緑地、緑地協定、保存樹林の達成値は8,9割程度であることから、法令等に基づいて指定されるみどりの量は概ね確保されていると言えます。一方で、民間施設緑地や田畑等、人による利用・管理が必要なみどりは減少傾向にあります。さらに、市民意向調査では、公園・緑地の管理状況についての市民満足度は低い状況です。

このような状況を踏まえ、本市に存在する多様で豊かなみどりの保全に加え、適切な維持管理方策の検討が必要です。

##### ②みどりが不足する箇所へのみどりの配置

緑被調査結果より、郊外部とまちなかでは緑被率も大きく異なり、中心市街地に近づくにつれてみどりが減少しています。また、市民意向調査結果から、「まちなかでみどりが不足している」また、「市内におけるみどりの配置にメリハリが必要である」との意見があります。

このような状況を踏まえ、特にみどりが少ないと感じられる中心市街地等において重点的にみどりを確保する等、地域ごとの状況やニーズに合わせたみどりの配置検討が必要です。

#### 2) みどりの「質」的課題

##### ①みどりの魅力・機能の向上

都市公園の整備状況について、現行計画の目標水準から検証すると、箇所数は概ね達成できていますが、面積が目標を下回っています。しかしながら、市民意向調査結果では、多くの回答者が「公園の数は十分だが、老朽化した公園をリニューアルした方が良い」と感じています。

人口減少や少子高齢化により、公園に求められる機能も変化していると考えられることから、みどりの見直しを図り、魅力・機能を向上させることが必要です。

##### ②多様な主体によるみどりの管理・活用の推進

市民意向調査結果では、公園・緑地の管理主体については、大規模な公園は行政が主体となり、身近な公園は地域住民が主体と言う意見が最も多いものの、実際のみどりの管理活動に積極的に参加している回答者は少数であり、高齢化により、管理活動の継続が困難であるとの意見があります。

官民連携を促進する法令・制度を活かして、今後は行政だけでなく、市民、事業者等、多様な主体によるみどりの維持管理・活用を促進するための方策について、検討する必要があります。